

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>4. NHKドラマ『平清盛』について</p> <p>NHK大河ドラマ『平清盛』が2012年1月より放送されると聞く。かつて、NHKテレビ小説「風見鶏」の放映で北野異人館街が全国的に有名となった。『平清盛』では、まさに、中央、兵庫、長田、須磨といったインナーシティが一番の主演になる。これを機に、多くの企業に進出してもらい、多くの観光客に来てもらえるよう取り組んでいかなければならない。</p> <p>行財政局が主演となることがあるはずなので、この件について行財政局としての見解を伺う。</p>	<p>主税部長</p>	<p>行財政局としてできること、というご質問には、以前にご指摘のあった、進出企業に対する固定資産税や事業所税の優遇措置、という観点からお答えする。</p> <p>ご指摘のとおり、NHK大河ドラマを機に神戸の魅力が国内・国外に発信され、観光客が増加することで観光関連を筆頭に市内の様々な業種が活気付き、ひいては相乗的に市内全体の景気が上向くなど、大河ドラマの効果に大いに期待しているところである。</p> <p>「平清盛」関連の進出企業に対する税制上の優遇措置については、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の市街地では、従来から事業活動が行われているため、「平清盛」関連事業をどう定義づけるか、また、軽減対象の考え方によっては、同地域内の既存の物販事業者やサービス事業者と区別がしにくい、という点、</li> <li>・企業進出に伴い、新たに生まれることとなる固定資産税等を軽減するエンタープライズゾーンにおける軽減措置と違い、既存市街地で新たに軽減措置を講じた場合には、現在かかっている固定資産税等を軽減することとなり、税収が減少する場合もある、という点、</li> </ul> <p>等、課題もあると考えているが、ご指摘のとおり、大河ドラマを契機とした町おこしに向けては、官民一体の取組みが大変重要と認識している。</p> <p>そのため、本市においても、この機を捉えて、市民・事業者との協働のもと、あらためて「平清盛」ゆかりの地を観光資源として掘り起こし、積極的に全国に神戸の魅力を発信していくこととしており、全市あげての取組みの中で、税制上の優遇措置についても研究してまいりたい。</p>